

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 1 区分
 【発行日】令和 4 年 2 月 18 日 (2022.2.18)

【公開番号】特開 2021-10303 (P2021-10303A)
 【公開日】令和 3 年 2 月 4 日 (2021.2.4)
 【年通号数】公開・登録公報 2021-005
 【出願番号】特願 2019-124722 (P2019-124722)
 【国際特許分類】

A 01 G 24/35 (2018.01)
 C 08 L 101/14 (2006.01)
 C 08 F 8/12 (2006.01)
 C 08 J 3/24 (2006.01)

10

【F I】

A 01 G 24/35
 C 08 L 101/14
 C 08 F 8/12
 C 08 J 3/24 Z C E P
 C 08 J 3/24 C E X
 C 08 J 3/24 C E Y

20

【手続補正書】
 【提出日】令和 4 年 2 月 9 日 (2022.2.9)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0026
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0026】

上記 (i - 1) において、アンモニウム基を有するモノマーとしては特に制限はないが、例えばジアリルジメチルアンモニウムクロライド、ビニルトリメチルアンモニウムクロライド、アリルトリメチルアンモニウムクロライド、p - ビニルベンジルトリメチルアンモニウムクロライド、3 - (メタクリルアミド) プロピルトリメチルアンモニウムクロライドが挙げられる。また、上記アンモニウム基を有するモノマーの誘導体としては、該モノマーのアミン等が挙げられ、例えば、ジアリルメチルアミン、ビニルアミン、アリルアミン、p - ビニルベンジルジメチルアミンおよび 3 - (メタクリルアミド) プロピルジメチルアミン等が用いられる。

30

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0044
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0044】

40

ビニルアルコール系重合体 (A) の粘度平均重合度に特に制限はないが、製造容易性の観点から、好ましくは 20000 以下、より好ましくは 10000 以下、さらに好ましくは 4000 以下、特に好ましくは 3000 以下である。一方、ビニルアルコール系重合体 (A) の力学特性および水への耐溶出性の観点からは、好ましくは 100 以上、より好ましくは 200 以上、さらに好ましくは 400 以上である。ビニルアルコール系重合体 (A) の粘度平均重合度は、例えば J I S K 6726 に準拠した方法により測定できる。ビニルアルコール系重合体 (A) が後述のように架橋構造を有する場合、例えばビニルアル

50

コ-ル系重合体（A）が架橋構造としてアセタール構造またはエステル構造を有する場合、粘度平均重合度の測定は、架橋構造を切断した後に行うことができる。前記切断は、一般的な方法（例えば、酸若しくはアルカリを用いた加水分解）により行うことができる。

10

20

30

40

50